

令和6年度 行政評価

第6次えびの市総合計画 横断的施策評価シート

（ 評価対象年度 ： 令和5年度 ）

第6次えびの市総合計画前期基本計画 横断的施策評価シート

【 横断的施策 基本情報 】

横断的施策名	1 新興感染症の対策	関連する 所属	健康保険課・市立病院・観光商工課
関連する 基本施策	基本施策2 健康でいきいきと暮らせるまちづくり 基本施策5 市立病院の充実 基本施策7 観光商工業の活性化	関連する 事務事業	・新興感染症の対策

【 横断的施策 取組内容 】

横断的施策の内容 (総合計画記載内容)	● 市民に対し新興感染症にかかる情報を正確かつ迅速に提供します（健康保険課） ● 新興感染症に係る関係機関や関係団体と情報の共有及び連携を図ります（健康保険課） ● 行政と市立病院をはじめとする市内各医療機関が連携し、円滑なワクチン接種など新興感染症への体制を構築します（健康保険課、市立病院） ● アフターコロナを見据え、地域経済の回復に向けて、商工業支援を更に推し進めます（観光商工課）
取組内容等 (直近の取組内容と 今年度の目標・見込み等)	消費喚起策としてプレミアム付商品券発行事業(計2回)を実施した(観光商工課) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの5類移行後においても、ワクチン接種について、ホームページ等により市民への情報提供に努めた(健康保険課) 国の指導の下、西諸医師会をはじめ市内医療機関との連携を図り、接種体制を確保するとともに、希望する市民へワクチン接種を実施した(健康保険課) ワクチン接種推進室の業務を臨時接種終了日(令和6年3月31日)まで継続し、相談対応や予約が困難な方に対するサポートを行った(健康保険課) 健康保険課と情報共有を図るとともに、対象患者不在時にも新型コロナウイルス感染症患者の受入れのための病床を確保した(市立病院)

【 横断的施策の評価 】

担当課評価	健康保険課	A（順調である）	市立病院	A（順調である）	観光商工課	B（概ね順調である）
評価の理由	感染症等(新型コロナウイルス感染症、物価及びエネルギー価格高騰等)の状況に応じた消費喚起策が実施されている(観光商工課) 新型コロナウイルスの5類移行後においても、ワクチン接種について情報発信に努め、西諸医師会や医療機関との連携により、接種体制を確保し円滑な接種が行えた(健康保険課) ワクチン接種推進室の業務を継続し、相談対応に応じサポート体制を確保したことで、順調な接種推進が行えた(健康保険課) 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、ワクチン接種数は少なくなったが、新型コロナウイルスに感染する患者が未だにいるため、発熱外来や院内の感染防止対策を継続して行った(市立病院)					
今後の課題	年々、国や県の感染症対策が緩和されており、市としての消費喚起及び事業者支援の在り方が課題となっている(観光商工課) これまでの臨時接種が終了したことに伴い、今後は65歳以上の方などを対象とした定期接種を行うこととなったが、自己負担金が発生するため、接種率の低下が懸念される(健康保険課) 新興感染症対応のスキルアップ(市立病院) 新型コロナウイルスに係る発熱外来・入院対応の継続(市立病院)					
課題解決方針 今後の取組方針	感染症等(新型コロナウイルス感染症、物価及びエネルギー価格高騰等)の状況に応じて自治体に対して行われる補助金等、国県の財源を活用しながら、消費喚起策及び商工業支援を継続し、経済回復を図っていく(観光商工課) 新興感染症が発生した際に備え、保健所が策定した健康危機対処計画を踏まえ、当該計画の対応に関する手引書を整備していく(健康保険課) 新興感染症が発生した場合は、国の動向に注視し、国・県より示される内容について迅速に対応できるよう、西諸医師会及び関係機関等との連絡調整を密にしていく(健康保険課) 地域医療連携推進法人による人事交流(感染マニュアルの見直し、スキルアップ)(市立病院) 健康保険課との情報共有等の緊密な連携(市立病院)					

第6次えびの市総合計画前期基本計画 横断的施策評価シート

【 横断的施策 基本情報 】

横断的施策名	2 教育移住の推進・飯野高等学校支援	関連する 所属	企画課・学校教育課
関連する 基本施策	基本施策14 学校教育の充実 基本施策19 市に関する総合的な企画立案	関連する 事務事業	・一貫教育推進事業、30人学級事業、飯野高等学校支援事業 ・飯野高等学校生徒下宿等費用助成事業、飯野高等学校生徒寮運営補助金

【 横断的施策 取組内容 】

横断的施策の内容 (総合計画記載内容)	● 本市独自の教育施策(少人数学級及び幼保・小・中・高一貫教育)や教育環境を充実させ、その情報発信を市内外に行っていきます(学校教育課) ● 飯野高等学校の魅力を更に向上させるための施策(学力向上支援、奨学金給付、遠距離通学者通学費支援など)を行います(学校教育課) ● 飯野高等学校の全国枠受入れを推進するため、下宿の補助や更なる寮の環境整備などに取り組めます(企画課)
取組内容等 (直近の取組内容と 今年度の目標・見込み等)	全国枠の生徒たちの生活拠点として、市内の民間宿泊施設に下宿する生徒の保護者には下宿助成を行うことで保護者の負担軽減を図った。令和5年4月から男子寮を開設した。令和4年4月から開設した女子寮(えびの市国際交流センター2階)と令和5年4月から開設した男子寮を運営する「飯野高等学校留学生受入推進協議会」には補助金を交付し、安定した寮の運営を支援した(企画課) 令和6年度は、全国枠の生徒を増やすため、地域みらい留学に引き続き参画し、飯野高等学校の魅力をPRしていくとともに、移住支援策とも絡めて、えびの市の特色ある教育施策を広くPRし、子育て世帯の移住促進を図る(企画課) 30人学級編制のための講師の確保のため、県内外の学校への説明会等の実施及びteach for Japanによる人材派遣の活用を継続を行う(学校教育課) 飯野高等学校支援事業として、学力向上支援、奨学金給付、遠距離通学通学者支援を行う(学校教育課) ホームページ記事の充実(えびのの教育パンフレット掲載、学力向上の成果の掲載等)により、市内外へ発信していく(学校教育課)

【 横断的施策の評価 】

担当課評価	企画課	B（概ね順調である）	学校教育課	B（概ね順調である）
評価の理由	令和5年4月より運営の始まった男子寮と女子寮の運営は、大きな問題はなく、生徒たちの満足度も非常に高い(企画課) 飯野高等学校の全国枠入学者については、令和6年度は6人が入学している(学校教育課) 令和6年度の飯野高等学校への入学者については、西諸管内だけでなく、県内遠隔地の中学校からも入学している(学校教育課) 昨年度は国公立大学8名進学するなど、毎年国公立大学への進学者を出している(学校教育課)			
今後の課題	飯野高等学校留学生受入推進協議会に補助金を交付し寮を運営していただいているが、補助金の額が高額となっている。国の交付金を活用しているが数年で終了する。全国の寮費と比較しても高額であり、これ以上、生徒・保護者に負担を求めることは難しく、財源確保が課題である(企画課) 飯野高等学校支援事業について支援内容の検証の必要がある(学校教育課) 飯野高等学校の魅力発信について不十分な部分がある(学校教育課)			
課題解決方針 今後の取組方針	県立高等学校であるため、県への支援の要望を継続していく。その他、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの活用も模索していく(企画課) 飯野高等学校支援事業の支援内容について、飯野高校と協議し、必要があれば見直していく(学校教育課) 飯野高等学校の魅力や飯野高等学校支援事業について、積極的に情報発信を行い、市内外へのPRを強化していく(学校教育課)			

第6次えびの市総合計画前期基本計画 横断的施策評価シート

【 横断的施策 基本情報 】

横断的施策名	3 地域商社(仮)の設立	関連する 所属	企画課・畜産農政課・観光商工課
関連する 基本施策	基本施策9 農業・畜産業の活性化 基本施策7 観光商工業の活性化 基本施策19 市に関する総合的な企画立案	関連する 事務事業	物産振興協会補助事業、起業家支援事業、観光協会補助事業

【 横断的施策 取組内容 】

横断的施策の内容 (総合計画記載内容)	● 関連する課・事務局及び関係機関と連携を図りながら、地域商社(仮)の設立に向けて取り組みます。 ● 本市で農業をしたいと考える人と農家や遊休施設等のマッチング支援をはじめ、農業に関する総合的な支援のための体制づくりを目指すとともに、農畜産物や観光などの地域資源を活かして地域に人やお金を呼び込むための地域商社(仮)を見据えて推進します(畜産農政課) ● 稼ぐ観光を目的として、観光をはじめ他分野の事業者等と連携を図り、観光地域づくりの舵取り役を担う組織づくりを進めます(観光商工課)
取組内容等 (直近の取組内容と 今年度の目標・見込み等)	「株式会社えびの」概要 【設立日】令和6年2月9日 【資本金】100万円(えびの市出資率100%) 【役員】代表取締役 安達雄樹、えびの市長 令和5年度は、地域商社設立に向け取り組んだ。令和6年2月9日付で「株式会社えびの」を設立。地域商社プロジェクトマネージャー1名、地域おこし協力隊2名の人材確保を行った(企画課) 令和6年度は、設立した地域商社にふるさと納税の中間処理業務を委託し、まずは中間処理業務が円滑に遂行できるよう連携していく(企画課) 地域商社設立プロジェクトチームに観光商工課も加わり、設立推進のための作業部会で、職員研修の開催、観光関係団体(観光協会、物産振興協会等)との協議、設立に向けた定款や職員体制・雇用条件等の作成を行い、令和6年4月1日設立に至った(観光商工課)

【 横断的施策の評価 】

担当課評価	企画課	B（概ね順調である）	畜産農政課	C（順調でない）	観光商工課	B（概ね順調である）
評価の理由	令和6年2月9日付で地域商社である「株式会社えびの」を設立ができた(企画課) プロジェクトチームに参画し、各部会で順調に検討が行われ、設立に至った(観光商工課) 地域商社は令和5年度に設立されたが、農業に関する総合的な支援のための体制づくりには至っていない(畜産農政課)					
今後の課題	地域商社の設立はできたが、地域商社が軌道に乗った後、観光・農業分野のこういった機能を持たせていくか各所属との協議が必要である(企画課) 観光協会及び物産振興協会、起業支援センターを今後、地域商社と統合することを視野にいれた取り組みの検討が課題(観光商工課) 令和5年度に設立した地域商社の今後の方向性を注視しつつ、引き続き、地域商社が担える業務について精査が必要(畜産農政課)					
課題解決方針 今後の取組方針	設立した地域商社にふるさと納税の中間処理業務を委託し、まずは中間処理業務が円滑に遂行できるよう連携していく。また、情報収集や返礼品取扱事業所の伴走支援を行い、寄附額向上に向けた取組みを強化するとともに、インターネット販売に向けた連携を進めていく(企画課) 観光協会及び物産振興協会、起業支援センターを今後、地域商社と統合することを視野にいれ、継続して協議を進めていく(観光商工課) 令和6年度は、地域商社に持たせることが可能な業務について精査を行っていく(畜産農政課)					